



年度 教育・保育者の自己評価

【参考例Ⅰ】

【記入方法】 各項目の総合評価（A、B、C、D）の欄に○をつけてください。



- A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

		A	B	C	D
I 教育・保育計画	教育課程・全体的な計画等の作成に参画し、子どもの発達過程を理解し、人間形成の基礎を養う時期であることを十分に認識して保育実践に取り組んでいる				
	指導計画を作成するにあたっては、一人一人の子どもの発達過程や状況、クラスの実態について、職員間の共通認識のもとに作成されている				
	 配慮して取り組んでいること、課題と感じていること				
II 子どものかわり	子どもの人権に配慮した対応をしている				
	子どもに対して尊重の気持ちを表している（子どもを公平に扱う・差別をしない・話を真摯に聞く・子どもの望みを理解し叶えようとする・大きな声で呼んだり必要のない言葉をかけたりしない・子どもが目線、表情、言葉で訴えている時に的確に対応している等）				
	保育者の言動は子どもに大きな影響を与えることを常に意識している				
	子どもの良さを積極的に見つけ、子どもとのやりとりが肯定的である				
	朝の受け入れ時や連絡帳で子どもの健康状態を日々確認している				
	一人一人の思いを受け止め、共感したり認めたりしながら、信頼関係を築いている				
	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように援助している				
	 配慮して取り組んでいること、課題と感じていること				

実施時期

【 月】 記入日 月 日 氏名

日々の教育・保育を振り返り、保育者一人一人が今後もより良い施設運営に向けて取り組んでいくために、保育者の自己評価を行ないます。記入後は、園長（施設長等）とのヒアリングも実施します。

		A	B	C	D
III 保護者との かわり	保護者と保育者の間で連絡帳や登降園時に、子どもに関する情報の共有がある				
	多様な家庭に対して偏見や差別意識を持っていない				
	個人情報保護について職員全体で確認し、十分配慮している				
	園内の廊下・園庭・テラス・窓等が開放された保育室や休憩室・バス・電車等の公共機関、飲食店等で個人が特定できる話をしていない				
	保護者が意見や相談ができる雰囲気や体制がある				
	保護者からの意見や苦情等を真摯に受け止め、教育・保育の意図や改善を保護者に伝えている				
 配慮して取り組んでいること、課題と感じていること					
IV 保育室の 環境	子どもの興味・関心に合わせて好きな遊びができるようにしている				
	子どもが自分で遊びだせるように、子どもの成長に合わせた玩具・絵本・遊具等が、自分で選び手に取れる場所に、適切な量で用意されている				
	保育室の装飾・飼育生物・菜園・プランターの植物等、季節感を取り入れる工夫や、自然と関わるができる取り組みがなされている				
	 配慮して取り組んでいること、課題と感じていること				


実施時期

【 月 】 記入日 月 日 氏名

【記入方法】 各項目の総合評価（A、B、C、D）の欄に○をつけてください。

- A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

※ 園長・副園長のみ

		A	B	C	D
園長・副園長の自己評価	園長・副園長（主任）自身が管理者としての専門性の向上に努めている				
	地域の状況を把握し、区の目指す教育・保育の方針を理解し職員に伝えている				
	保育者の資質向上、保育内容の充実のために計画的に園内研修を実施している				
	教育・保育の様子を観察し、保育者と子どもの状況を共有している				
	 配慮して取り組んでいること、課題と感じていること				



気づいたことをメモしておこう！

年度 施設の自己評価

【参考例2】

【記入方法】 各項目の総合評価（A、B、C、D）の欄に○をつけてください。

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
子どもの権利の尊重	子どもの権利について職員全体で確認し、十分配慮している					
	保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉づかいをしていない					
	長期欠席の子どもの状況把握をしている					
	子どもの様子で気になることは関係機関に報告している					
	個人情報保護について職員全体で確認し、十分配慮している					
教育・保育施設ならびに保育者の質の向上	園長は、地域の状況を把握し、足立区の目指す教育・保育の方針を理解し職員に伝えている					
	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針を十分に理解し向上心を持って教育・保育に取り組んでいる					
	子どもと保護者のおかれた状況を受け止め、保護者とのより良い関係を築き、良好に保つための努力をしている					
	社会情勢や環境の変化について常に関心を持ち、時代に適した教育・保育実践のための自己研鑽に努めている					
	教育・保育実践を互いに見合う等、学び合いの基盤ができています					
	保育者等の自己評価結果に基づいた施設長と職員の話し合いを実施している					
	利用者（保護者）の意見を聞き、改善に努めている					

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
教育・保育計画	全体的な計画（教育課程やその他の計画を含む）は、園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、教育・保育の「ねらい」「内容」が総合的に展開されるよう編成されている（職員の参画のもとに作成している）					
	全体的な計画（教育課程やその他の計画を含む）をより適切なものに改めていくという姿勢を、全ての保育者が持っている					
	指導計画を作成するにあたっては、一人一人の子どもの発達過程や状況、クラスの実態について、職員の共通認識のもとに作成している					
	一人一人の子どもの発達状況、月や期の目標、教育・保育の実態について職員間で定期的に話し合う機会を設けている					
	就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料（幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所児童保育要録）を確実に送付し、情報共有を図っている					
環境	保育者は、自身が子どもにとって重要な環境であることを十分に意識し、子どもの人権に配慮した対応をしている					
	各保育室は整理整頓され、雑然としていない					
	各保育室には、一人一人の成長発達を考慮した遊びを準備している					
愛着形成	子どもの成育歴や心身の発達等を考慮して、主に担当する保育者を決めている（0・1・2歳児）					
	保育者は一人一人の思いを受け止め、共感したり認めたりしながら、信頼関係を築いている					
	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように援助している（3歳児以上）					

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
健康・安全	乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるように、食事の提供を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置づけるとともに評価・改善に取り組んでいる					
	アレルギー対応マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している					
	子ども一人一人の生活リズムや体調を考慮し、睡眠・食事・遊びのバランスをとっている					
	定期的に子どもの呼吸・体位・睡眠状態を観察し、睡眠時チェック表に記録している					
	子どもが睡眠している時は必ず保育者が保育室にいる					
	保健（衛生管理・感染症対策等）に関するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している					
	年齢発達に合わせて、ぶくぶくうがいや正しい歯みがきの方法を指導している					
	家庭や地域との連携を図りながら子どもの健康増進に取り組んでいる					
	早寝早起き、朝食を食べる等の生活リズムを整えるとともに、1日3食野菜を食べる等望ましい食習慣の大切さを家庭に伝えている					
	施設内外や園外保育先の安全点検を実施してから子どもを遊ばせている					
緊急時にも対応できる職員体制が整っており、役割分担が決まっている						
子どもが危険な場所や災害時の行動の仕方が分かり、安全に配慮して行動できるよう、計画的に教育・保育を実施している						

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
幼保小連携	0・1歳児からの教育・保育の積み重ねが5歳児の姿となり、小学校就学への滑らかな移行につながることを全職員が理解している					
特別支援	記録を基に、どのような場面で子どもが困っているのかを検討し、必要に応じて専門機関(こども支援センターげんき発達支援係、地域の保健センター等)の助言を受けている					
	子どもの成長発達を保護者と共有する保育参観や個人面談等を設けて、相互理解を図っている					
保護者、家庭及び地域と連携した子育て支援	第三者評価、利用者アンケートに取り組み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている					
	区や地域で行われている子育て支援施策を理解し、必要とする家庭を関係機関につなげている					
	施設が実施している子育て支援事業の情報を積極的に発信している					

年度 家庭的保育事業の自己評価

【参考例3】

【記入方法】 各項目の総合評価（A、B、C、D）の欄に○をつけてください。

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
子どもの権利の尊重	子どもの権利について保育室全体で確認し、十分配慮している					
	保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉づかいをしていない					
	長期欠席の子どもの状況把握をしている					
	子どもの様子で気になることは区及び関係機関に相談している（長期欠席・虐待疑いなど）					
	個人情報保護について保育者全員で確認し、十分配慮している					
	子どもに対しての一方的な思い込みや偏った見方をしない					
保育者の資質	子どもと保護者のおかれた状況を受け止め、保護者とのより良い関係を築き、良好に保つための努力をしている					
	社会情勢や環境の変化について常に関心を持ち、時代に適した保育実践のための自己研鑽に努めている					
	保育所保育指針を十分に理解し向上心を持って保育に取り組んでいる					
	利用者（保護者）の意見を聞き、改善に努めている					
保育計画	一人一人の子どもの発達や家庭環境を踏まえて個別指導計画を作成している					
	一人一人の子どもの発達状況・月の目標・保育の実態について職員間で定期的に話し合う機会を設けている					
	指導計画に基づく保育を見直し、改善を図っている					

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
環境	保育者は、自身が子どもにとって重要な環境であることを十分に意識している					
	保育室は整理整頓されている					
	保育室には、一人一人の成長発達を考慮した遊びが準備されている					
愛着形成	子どもにかかわる時は、その子どもに事前に言葉がけをしている。(突然鼻を拭いたり、抱き上げたりしないなど)					
	おむつ交換は声をかけ、スキンシップを大切にしながら行っている					
	子どもは大人の顔色を伺うことなく感じたことや要求を表現している					
健康・安全	子ども一人一人の一日を通した生活リズムを把握し、睡眠・食事・遊びのバランスを考慮して健康に過ごせるようにしている					
	睡眠時チェック表を作成し、睡眠観察を行っている					
	子どもが寝ている時は必ず保育者が保育室にいる					
	保健(衛生管理・感染症対策等)に関するマニュアルを活用し、保育者全員と共有する機会を持っている					
	早寝早起き、朝食を食べる等の生活リズムを整えとともに、望ましい食習慣について家庭に伝えている					
	施設内外や散歩先の安全点検、整備状況等を把握している					
	緊急時にも対応できる職員体制を整えている					
保護者支援	子どもの成長発達を保護者と共有できる機会を設けて、相互理解を図っている					
	区や地域で行われている子育て支援施策を理解し、必要とする家庭を関係機関につなげている					